



浜田市立第三中学校学校便り 第11号
2025(令和7)年3月21日(金)
〒697-1322 浜田市日脚町 572
TEL 0855-27-1150
FAX 0855-27-1151
E-mail dai3@hamada.ed.jp

「 88名の巣立ち 」

校長 久佐日佐志

3月8日(土)、第78回卒業証書授与式を挙行いたしました。在校生および来賓、保護者の皆様に見守られ、88名の卒業生が浜田三中から巣立っていきました。

卒業式では、式辞として次のような話をしました。(抜粋)

・・・卒業生のみなさんに、先日深く感心をしたことがあります。それは、私が生徒会のみなさんに「中学校3年間の中で自分が成長したと思うことは何ですか？」と聞いた時の内容です。彼らは、すぐに手を挙げて口々に話してくれました。ある生徒は、「1、2年の時、行事や集会では何も考えずに座り、司会者の話もあまり聞いていなかった。今は、話す人がどれだけの準備をしているのか、会場のシートや椅子を並べるとき見えないところでどれだけの人が頑張っているのだろうと想像するようになった。だから、司会者の話をしっかり聞いたり、シートや椅子にひっかからないように歩いたりしている。」とってくれました。こうした見えない人の気持ちや行動を想像する力は、人権感覚の基盤とも言われているものです。

また、ある生徒は、「以前は、一部の人の意見を聞いて企画・行動していた。反対もあったけど仕方ないと思っていた。しかし、いろいろな意見は、同じか違うだけでなく、考え方の方向性が違うことに気づいた。そのことによって自分の受け止め方や伝え方が変わった。いまは、できるだけ多くの意見を聞いて行動している。その結果、みんなで協力して活動ができることにつながり、大変なことを一緒に乗り越えたときの達成感がより大きいと思っている。」とってくれました。

皆さん自分だったらと考えてみてください。

- ・考えの違う人の意見。それを相手の気持ちをわかって聞くことができますか？
- ・相手を否定することなく、「相手と違う考え」を伝えられますか？
- ・違う意見の人と素直に協力できますか？

この話を聞いて私は、「自分が15歳の時、自分の成長をこれだけ言葉にできただろうか」と考えました。とてもできませんでした。1、2年生のみなさん、会場の皆様、自分の成長をとっさに言葉にできるでしょうか。

また、この話は、生徒会の生徒が素晴らしいだけでは成り立ちません。聞いてくれる相手、認めて協力し合う仲間、創り上げてきた人間関係、そしてこうしたことが、出来る集団の空気感があるからこそ成り立つことだと思います。

これからの社会は多様性を認め合う社会、異なる立場の人間が協力・協働して創り上げる社会ともいわれています。その時、最も必要とされるものが、先ほどのエピソードの中に盛り込まれている、想像力、聴く力・伝える力・相手に共感する力などと言われています。ぜひ、この浜田三中での生活で培ってきた力を基盤として、これから進む新しい社会へ自信をもって進んでほしいと思っています。

4月から皆さんが進む社会は、新たな人・もの・こととの出会いがあり、魅力にあふれています。失敗する勇氣をもって、何事にもチャレンジすること、また、自分の可能性を見つけ、広げていくことが求められています。これは、みなさん一人一人が成長するためにも、とても大切なことです。初めてのことにチャレンジをしようとするとエネルギーが湧くこともあります。一方で壁を感じ、不安や心配が頭をよぎり自信を失うこともあります。そんな時はゆっくりと立ち止まり、心と体を休めることを大切にしてください。

覚えていてほしいことは、みなさんは決して一人ではないということです・・・

保護者、地域の皆様、この一年間中学校の活動に対して多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



第 78 回卒業証書授与式

3月8日(土)第78回となる卒業証書授与式を行いました。今年は公立高校一般入試から日数が短く、卒業生にとっても、在校生・職員にとってもややあわただしい準備日程となりました。しかし、卒業生は短時間で集中して式練習を行い、当日は厳粛な中にも温かい気持ちの通う式となりました。式辞の中で自分の手で実際に確かめた「親指と小指の話」、卒業生全員が歌った答辞の中の歌など、旅立ち日の思い出として残るのではないかと思います。

涙腺の緩んだ最後の学活から、在校生の歓送を受けて校舎の外へ出た卒業生は、春の日差しの中、長い間名残を惜しんでいました。(永見)



令和6年度県学力調査結果より

1・2年生を対象に実施された県学力調査結果(国数英・意識)から見えた課題と手立てについてお知らせします。
〈学力調査〉

県平均とほぼ同程度の教科	中1(国)
県平均を下回った教科	中1(数・英)中2(国・数・英)

手立て 引き続き、授業アンケートを実施し、好き・分かると言える生徒80%を目指し、授業改善に努めます。また、分かる授業づくりに向けて、書く活動に重点をおくことや、1時間の授業内容の確認のために演習を行います。英作文や記述問題の力をつけていくために、自分の考えを言葉で表現する機会を増やします。

〈意識調査〉

普段家庭学習を毎日1時間以上している生徒の割合は以下の通りです。

《中2 24.6%(県 39.6%)》 《中1 46.4%(県 36.7%)》

手立て 平日の家庭学習時間の目安 «1年生 1時間» «2年生 1.5時間» «3年生 2時間»を最低学習時間とし、日々の学習の定着を図るために、これまで出してきた宿題の内容や量などを改善していきます。また、3点固定(学習開始・就寝・起床)を再確認し、定期的に振り返ることで意識づけをしていきます。

4月には、卒業生から効果的な取り組みのメッセージを聞く時間をとることにより、自分の家庭学習方法を見直し、意欲が高まるよう計画しています。(青木)

のどぐろ給食

2月19日(水)に、3年生を対象に、浜田市産業経済部水産振興課のみなさんと栄養教諭の加藤先生にお越しいただき、のどぐろ給食についての授業をおこないました。浜田市では卒業生へのお祝いとして給食にのどぐろが提供されます。今年は、浜田市の漁業についてや、どのようにのどぐろが提供されるのか、その思いなどをお話いただきました。その後、給食の「のどぐろ」を味わって食べました。(野津)



3年生を送る会

3月7日(金)、3年生を送る会を実施しました。今年も生徒会を中心に、3年生が心から楽しみ、思い出に残る会になるよう準備を進めました。有志の生徒による出し物、1、2年生のサプライズ、3年体の教職員のダンスなど様々なかたちで3年生の卒業を祝福しました。学校全体が一体となって送り出す心温まる会になりました。(江川)



1、2年生 進路学習

【1年生】

総合の学習の時間で、現行の公立高校の受検の仕組みや、対応について学習しました。

また、職業について学校図書館を活用し、インターネットも使いたくさんの職業を調べ、その仕事に就くために必要な資格や方法などを調べました。調べた内容をパワーポイントにまとめ各学級で発表会(プレゼンテーション)を行いました。職業についての理解を深めることで、進路選択の一助になったと思います。(阿部)



【2年生】

1年後の進路決定に向けて、上級学校(高校)調べをしました。また、3月17日(月)には「市内3つの高校から学ぶ in さんちゅう」があり、「浜田高校」「浜田商業高校」「浜田水産高校」の先生方に来ていただき、学校の特色や卒業後の進学・就職状況などについてスライド等を交えながら丁寧に説明していただきました。実際にお話を聞くことで、生徒たちにとって、自分の将来を考えたり、3年生に向けて意欲を高めたりする機会になりました。(三島)



学校運営協議会導入準備会

浜田市では令和7年度から「地域とともにある学校づくり」を推進するために学校運営協議会が発足します。学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールと言います。今年は次年度に備えて、関係の皆様と熟議を重ねてきました。

新年度を控えて、学校評議員・校区内まちづくりセンターの皆様にお集まりいただき、2月21日(金)CS(コミュニティ・スクール)導入準備会を開催しました。市教委からの制度の説明に続き、校長から協議会の委員の選任、「浜田三中の描くコミュニティ・スクールの姿」についてお話ししました。地域と学校がともに輝く協働をめざして学校運営協議会が始まります。(永見)